



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ  
コード番号 8418 URL <http://www.ymfg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

(氏名) 福田 浩一

(氏名) 京原 健

TEL 083-223-5511

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	123,979	2.1	39,111	23.5	25,288	26.3
25年3月期第3四半期	121,474	1.5	31,663	18.2	20,025	158.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 29,869百万円 (46.1%) 25年3月期第3四半期 20,449百万円 (239.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	96.96	96.05
25年3月期第3四半期	75.78	75.59

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,270,118	520,476	5.6
25年3月期	9,327,235	521,423	5.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 515,445百万円 25年3月期 517,149百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	△1.9	45,000	2.6	27,500	1.0	105.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	264,353,616 株	25年3月期	264,353,616 株
26年3月期3Q	11,351,747 株	25年3月期	2,748,544 株
26年3月期3Q	260,814,524 株	25年3月期3Q	261,279,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「平成26年3月期第3四半期決算短信説明資料」として添付しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

第三種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
25年3月期	円 —	円 11,500	円 —	円 11,500	円 23,000	百万円 253
26年3月期						

第四種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
25年3月期	円 —	円 11,500	円 —	円 11,500	円 23,000	百万円 196
26年3月期						

(注) 第三種優先株式及び第四種優先株式については平成25年2月22日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月2日に全株式を取得し消却しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 平成26年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	P. 8 ~ 17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は株式等売却益などその他経常収益及び役員取引等収益の増加を主因に、前年同期比 25 億 5 百万円増加して 1,239 億 79 百万円となりました。一方、経常費用は株式等償却などその他経常費用の減少を主因に、前年同期比 49 億 43 百万円減少して 848 億 67 百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比 74 億 48 百万円増加して 391 億 11 百万円となり、四半期純利益は前年同期比 52 億 63 百万円増加して 252 億 88 百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末比 571 億円減少して 9 兆 2,701 億円となり、純資産は優先株式の取得及び消却による資本剰余金の減少を主因に、前連結会計年度末比 10 億円減少して 5,204 億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比 603 億円減少して 8 兆 3,927 億円、貸出金は前連結会計年度末比 1,167 億円増加して 5 兆 9,286 億円、有価証券は前連結会計年度末比 2,727 億円増加して 2 兆 4,170 億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 11 月 8 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」等の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 23 年 3 月 25 日)等を、第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	347,075	211,318
コールローン及び買入手形	649,842	326,980
買入金銭債権	7,663	8,504
特定取引資産	9,231	9,244
金銭の信託	55,488	50,379
有価証券	2,144,382	2,417,044
貸出金	5,811,966	5,928,691
外国為替	12,739	12,058
その他資産	191,081	211,454
有形固定資産	90,008	89,072
無形固定資産	38,932	30,923
繰延税金資産	22,370	15,815
支払承諾見返	44,604	49,936
貸倒引当金	△98,152	△91,308
資産の部合計	9,327,235	9,270,118
<b>負債の部</b>		
預金	7,868,565	8,048,285
譲渡性預金	584,492	344,466
コールマネー及び売渡手形	42,990	59,706
債券貸借取引受入担保金	4,329	25,985
特定取引負債	2,961	3,610
借入金	29,236	28,650
外国為替	469	319
社債	95,000	45,000
新株予約権付社債	—	31,617
その他負債	113,995	91,961
賞与引当金	2,911	1,562
退職給付引当金	1,113	2,356
役員退職慰労引当金	21	25
利息返還損失引当金	85	88
睡眠預金払戻損失引当金	1,086	943
ポイント引当金	75	66
特別法上の引当金	3	6
繰延税金負債	931	2,383
再評価に係る繰延税金負債	12,937	12,670
支払承諾	44,604	49,936
負債の部合計	8,805,812	8,749,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	79,628	60,066
利益剰余金	332,867	355,278
自己株式	△2,731	△10,745
株主資本合計	459,764	454,598
その他有価証券評価差額金	34,498	38,350
繰延ヘッジ損益	△446	△347
土地再評価差額金	23,332	22,844
その他の包括利益累計額合計	57,385	60,846
新株予約権	249	376
少数株主持分	4,024	4,654
純資産の部合計	521,423	520,476
負債及び純資産の部合計	9,327,235	9,270,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	121,474	123,979
資金運用収益	78,030	78,377
(うち貸出金利息)	63,938	60,775
(うち有価証券利息配当金)	12,998	16,774
役員取引等収益	16,101	18,915
特定取引収益	861	1,960
その他業務収益	22,546	10,061
その他経常収益	3,933	14,664
経常費用	89,810	84,867
資金調達費用	7,122	6,919
(うち預金利息)	5,355	5,406
役員取引等費用	5,686	5,809
特定取引費用	3	—
その他業務費用	1,702	4,224
営業経費	68,280	66,519
その他経常費用	7,015	1,394
経常利益	31,663	39,111
特別利益	418	12
固定資産処分益	9	12
固定資産交換差益	287	—
収用補償金	122	—
特別損失	83	188
固定資産処分損	70	139
減損損失	12	46
その他の特別損失	0	2
税金等調整前四半期純利益	31,999	38,936
法人税、住民税及び事業税	3,766	7,480
法人税等調整額	7,928	5,536
法人税等合計	11,695	13,016
少数株主損益調整前四半期純利益	20,304	25,919
少数株主利益	278	630
四半期純利益	20,025	25,288



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,304	25,919
その他の包括利益	145	3,949
その他有価証券評価差額金	205	3,842
繰延ヘッジ損益	△63	98
持分法適用会社に対する持分相当額	2	9
四半期包括利益	20,449	29,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,170	29,238
少数株主に係る四半期包括利益	278	630

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

## (優先株式の取得及び消却)

当社は、平成25年2月22日開催の取締役会において、当社発行の第三種優先株式及び第四種優先株式の全部につき、当社定款第16条第1項及び定款附則第1条第1項、第2項の規定に基づく取得及び当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を次のとおり決議し、平成25年4月2日に実施いたしました。なお、消却につきましては、資本剰余金より減額しております。

取得・消却株式の種類	第三種優先株式	第四種優先株式
取得・消却株式の総数	11,000株	8,535株
取得価額の総額	11,000,000,000円	8,535,000,000円

## (自己株式の取得)

当社は、平成25年12月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、平成25年12月5日に実施いたしました。

取得対象株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	9,000,000株
取得価額の総額	8,397,000,000円
取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け

平成26年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況	
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	(連) ---- P. 9
(2) 3行合算【単体】	(単) ---- P. 10
(3) 単体	
山口銀行	(単) ---- P. 11
もみじ銀行	(単) ---- P. 12
北九州銀行	(単) ---- P. 13
2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】	(単) ---- P. 14
3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】	(単) ---- P. 15
4. 預金・貸出金等の状況	
(1) 預金の残高【単体】	(単) ---- P. 16
(2) 個人預り資産の残高【単体】	(単) ---- P. 16
(3) 貸出金の残高【単体】	(単) ---- P. 17
5. 自己資本比率	(連・単) ---- P. 17

本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 損益の状況

## (1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- 山口フィナンシャルグループの連結決算につきましては、経常収益は、株式等売却益などその他経常収益及び役務取引等収益の増加を主因に、前年同期比25億5百万円増加して1,239億79百万円となりました。
- 経常利益は役務取引等利益及び有価証券関係損益の増加、与信関係費用の減少を主因として、前年同期比74億48百万円増加して391億11百万円となり、四半期純利益は前年同期比52億63百万円増加して252億88百万円となりました。

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成25年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	123,979	2,505	121,474	158,032
連結粗利益	92,397	10,683	103,080	134,554
資金利益	71,493	532	70,961	94,156
役務取引等利益	13,106	2,691	10,415	14,859
特定取引利益	1,960	1,102	858	1,567
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5,836 (5,110)	15,008 (8,067)	20,844 (13,177)	23,971 (16,048)
経費(除く臨時処理分)( )	64,940	1,065	66,005	86,559
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	27,456	9,618	37,074	47,995
連結コア業務純益	22,346	1,550	23,896	31,947
一般貸倒引当金繰入額( )	-	-	-	-
連結業務純益	27,456	9,618	37,074	47,995
臨時損益	11,690	17,046	5,356	4,086
うち株式等関係損益	6,972	13,062	6,090	3,002
うち不良債権処理額( )	309	31	340	449
うち貸倒引当金戻入益	5,029	2,793	2,236	132
うち償却債権取立益	13	3	10	21
経常利益	39,111	7,448	31,663	43,839
特別損益	175	510	335	120
税金等調整前四半期(当期)純利益	38,936	6,937	31,999	43,960
法人税等合計( )	13,016	1,321	11,695	16,218
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	25,919	5,615	20,304	27,741
少数株主利益( )	630	352	278	508
四半期(当期)純利益	25,288	5,263	20,025	27,233
与信関係費用( + - - )( )	4,733	2,827	1,906	295

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)  
3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結粗利益 - 経費(除く臨時処理分)  
4. 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益  
5. 連結業務純益 = 連結粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額  
6. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	12	-	12	12
持分法適用会社数	4	-	4	4

## (2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成25年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
	前年同期比			
経常収益	111,682	2,859	114,541	151,304
業務粗利益	85,462	13,295	98,757	128,430
資金利益	72,208	946	71,262	94,541
役務取引等利益	9,277	2,040	7,237	10,450
特定取引利益	77	58	19	18
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	3,898 ( 3,231)	16,339 ( 9,382)	20,237 ( 12,613)	23,420 ( 15,541)
経費(除く 臨時処理分) ( )	58,696	1,464	60,160	78,699
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	26,766	11,830	38,596	49,731
コア業務純益	23,535	2,447	25,982	34,190
一般貸倒引当金繰入額 ( )	5,022	2,379	7,401	6,698
業務純益	31,789	14,209	45,998	56,430
臨時損益	7,008	19,681	12,673	10,616
うち株式等関係損益	7,159	13,328	6,169	3,096
うち不良債権処理額 ( )	289	5,124	5,413	6,892
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち償却債権取立益	10	2	8	17
経常利益	38,761	5,491	33,270	45,744
特別損益	662	583	79	294
税引前四半期(当期)純利益	38,099	4,908	33,191	45,450
法人税等合計 ( )	11,823	1,012	10,811	14,974
四半期(当期)純利益	26,275	3,896	22,379	30,476
与信関係費用( + - - )( )	4,744	2,748	1,996	176

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。

5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体  
山口銀行

- ・ 経常収益は、貸出金利息等の資金運用収益が減少したものの、役務取引等収益及び貸倒引当金戻入益等の増加を主因として前年同期比28億16百万円増加して639億33百万円となりました。
- ・ 経常利益は、役務取引等利益及び有価証券関係損益の増加、営業経費や与信関係費用の減少などを主因として、前年同期比72億13百万円増加して236億32百万円となり、四半期純利益は、前年同期比45億15百万円増加して147億6百万円となりました。

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成25年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
経常収益	63,933	2,816	61,117	81,807
業務粗利益	45,321	4,872	50,193	66,686
資金利益	38,152	568	38,720	51,136
役務取引等利益	5,717	1,234	4,483	6,504
特定取引利益	77	58	19	18
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	1,372 ( 974)	5,598 ( 5,851)	6,970 ( 6,825)	9,026 ( 8,757)
経費(除く臨時処理分)( )	29,203	1,213	30,416	39,515
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16,117	3,659	19,776	27,171
コア業務純益	15,143	2,192	12,951	18,413
一般貸倒引当金繰入額( )	-	-	-	-
業務純益	16,117	3,659	19,776	27,171
臨時損益	7,551	10,854	3,303	534
うち株式等関係損益	3,935	8,480	4,545	1,709
うち不良債権処理額( )	78	3	81	106
うち貸倒引当金戻入益	3,173	1,376	1,797	1,594
うち償却債権取立益	4	1	5	8
経常利益	23,632	7,213	16,419	26,567
特別損益	557	535	22	65
税引前四半期(当期)純利益	23,075	6,678	16,397	26,501
法人税等合計( )	8,368	2,162	6,206	9,788
四半期(当期)純利益	14,706	4,515	10,191	16,712
与信関係費用(+ - -)( )	3,100	1,379	1,721	1,497

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## もみじ銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益の増加や株式売却益等による臨時収益の増加があったものの、前年同期に貸出債権の証券化に伴う譲渡益を計上したことによるその他業務収益の減少を主因として、前年同期比23億60百万円減少して434億45百万円となりました。
- ・ 経常利益は、資金利益と役員取引等利益に加えて臨時損益は増加したものの、その他業務利益の減少があり、前年同期比7億12百万円減少して138億98百万円となりました。四半期純利益は、前年同期比84百万円増加して108億43百万円となりました。

	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成25年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成25年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	43,445	2,360	45,805		58,519
業務粗利益	31,997	8,427	40,424		50,920
資金利益	26,670	1,644	25,026		33,470
役員取引等利益	2,956	724	2,232		3,228
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	2,371 (2,257)	10,794 (3,532)	13,165 (5,789)		14,222 (6,784)
経費(除く臨時処理分)( )	22,671	455	23,126		30,189
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	9,325	7,973	17,298		20,731
コア業務純益	7,067	4,441	11,508		13,946
一般貸倒引当金繰入額( )	-	2,376	2,376		2,004
業務純益	9,325	10,349	19,674		22,735
臨時損益	4,573	9,636	5,063		5,639
うち株式等関係損益	3,162	4,786	1,624		1,390
うち不良債権処理額( )	233	2,559	2,792		3,885
うち貸倒引当金戻入益	2,091	2,091	-		-
うち償却債権取立益	4	2	2		8
経常利益	13,898	712	14,610		17,096
特別損益	115	59	56		67
税引前四半期(当期)純利益	13,783	771	14,554		17,029
法人税等合計( )	2,939	855	3,794		4,484
四半期(当期)純利益	10,843	84	10,759		12,544
与信関係費用(+ - -)( )	1,862	2,275	413		1,872

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## 北九州銀行

- ・ 経常収益は、役務取引等収益が増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少を主因として、前年同期比5億42百万円減少して95億68百万円となりました。
- ・ 経常利益は、与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比10億10百万円減少して12億30百万円となり、四半期純利益は、前年同期比7億4百万円減少して、7億25百万円となりました。

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成25年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
経常収益	9,568	542	10,110	12,781
業務粗利益	8,143	4	8,139	10,823
資金利益	7,385	130	7,515	9,934
役務取引等利益	603	81	522	717
その他業務利益	154	53	101	171
(うち国債等債券損益)	( 0)	( 0)	( 0)	( 1)
経費(除く臨時処理分)( )	6,820	203	6,617	8,994
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,323	198	1,521	1,829
コア業務純益	1,323	199	1,522	1,830
一般貸倒引当金繰入額( )	192	192	-	-
業務純益	1,515	6	1,521	1,829
臨時損益	285	1,003	718	251
うち株式等関係損益	62	62	0	2
うち不良債権処理額( )	412	407	5	11
うち貸倒引当金戻入益	-	693	693	209
うち償却債権取立益	0	0	0	0
経常利益	1,230	1,010	2,240	2,081
特別損益	10	10	0	161
税引前四半期(当期)純利益	1,240	1,000	2,240	1,919
法人税等合計( )	515	296	811	701
四半期(当期)純利益	725	704	1,429	1,218
与信関係費用(+ - - )( )	219	907	688	199

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額



## 2. 金融再生法ベースの 카테고리による開示【単体】

- ・山口銀行の不良債権額は前年同期末比30億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.19%低下しました。
- ・もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比14億円増加しましたが、正常債権の増加が大きく、不良債権比率は前年同期末比0.18%低下しました。
- ・北九州銀行の不良債権額は前年同期末比74億円減少し、不良債権比率は前年同期末比1.16%低下しました。

		(単位:億円、%)		[参考](単位:億円、%)
		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	504	510	499
	危険債権	728	797	747
	要管理債権	242	257	242
	合計	1,475	1,564	1,488
	総与信に占める開示額の割合	2.43	2.74	2.49
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	151	165	152
	危険債権	401	438	411
	要管理債権	147	126	145
	合計	700	730	709
	総与信に占める開示額の割合	2.12	2.31	2.17
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	245	241	250
	危険債権	246	277	242
	要管理債権	68	27	68
	合計	560	546	561
	総与信に占める開示額の割合	2.85	3.03	2.92
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	106	103	96
	危険債権	80	81	93
	要管理債権	26	103	27
	合計	213	287	217
	総与信に占める開示額の割合	2.67	3.83	2.77

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリ(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

平成24年12月末・平成25年12月末の各開示区分の金額は、9月末から12月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた12月末時点における各残高を記載しております。

## 2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

## 3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

- ・3行合算の「其他有価証券」の評価差額は、株式の評価差額が増加したことを主因に、前年同期末比438億円増加し、572億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成25年12月末		平成24年12月末		平成25年9月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	其他有価証券	24,072	572	21,387	134	22,565	543
	株式	1,197	565	791	180	1,145	509
	債券	20,354	40	18,879	95	19,405	82
	その他	2,519	33	1,715	141	2,013	47
山口銀行	其他有価証券	15,773	476	13,389	205	14,141	443
	株式	901	458	589	162	849	406
	債券	13,458	45	11,990	99	12,391	68
	その他	1,412	27	809	56	900	31
もみじ銀行	其他有価証券	8,091	11	7,833	93	8,223	23
	株式	125	23	94	2	135	27
	債券	6,858	6	6,832	5	6,975	11
	その他	1,106	5	906	84	1,113	15
北九州銀行	其他有価証券	207	84	163	23	200	76
	株式	170	83	107	21	160	74
	債券	37	1	56	1	39	1
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

なお、平成24年12月末において、変動利付国債の時価については、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、引続き市場価格を時価とみなせない状態にあると判断した銘柄については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。

合理的に算定された価額は、第三者から提供を受けておりますが、保有している変動利付国債の元本部分と将来の期待クーポンを国債金利で現在価値に割り引いて算出されております。なお、将来の期待クーポンは、変動利付国債の商品性を考慮し、イールドカーブの形状、ボラティリティ、利払いのタイミングなどを調整したうえで見積もられております。

平成25年9月末及び平成25年12月末においては、保有する全ての変動利付国債について市場価格を時価とみなすことが相当と判断し、市場価格をもって時価とし貸借対照表に計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成25年12月末		平成24年12月末		平成25年9月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	19	0	10	0	12	0
山口銀行	満期保有目的の債券	11	0	10	0	12	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	8	0	-	-	0	0

## 4. 預金・貸出金等の状況

## (1) 預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金残高は、個人預金と法人預金がともに増加し、前年同期末比3,356億円増加して8兆4,394億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比1,761億円増加して4兆9,075億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比706億円増加して2兆7,520億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比889億円増加して7,798億円となりました。

	(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末
3行合算	84,394	81,038	84,633
山口銀行	49,075	47,314	48,919
もみじ銀行	27,520	26,814	27,948
北九州銀行	7,798	6,909	7,765

(注) 預金には譲渡性預金を含めております。

## (2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・個人預り資産の残高は、公共債及び投資信託が減少したものの、保険が増加したため、前年同期末比33億円増加して7,032億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末
3行合算	公共債	1,101	1,428	1,187
	保険	4,985	4,309	4,809
	投資信託	945	1,260	1,035
	合計	7,032	6,999	7,032
山口銀行	公共債	742	984	806
	保険	2,144	1,739	2,053
	投資信託	550	748	607
	合計	3,436	3,472	3,467
もみじ銀行	公共債	281	352	302
	保険	2,675	2,426	2,597
	投資信託	336	430	362
	合計	3,293	3,208	3,262
北九州銀行	公共債	77	92	78
	保険	165	144	157
	投資信託	59	82	65
	合計	302	319	301

(注) 公共債・投資信託は額面ベース、保険(年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースであります。

## (3) 貸出金の残高【単体】

- ・ 3行合算の貸出金残高は、前年同期末比3,612億円増加して5兆9,992億円となりました。
- ・ 山口銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比1,493億円増加して3兆2,637億円となりました。
- ・ もみじ銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比1,638億円増加して1兆9,434億円となりました。
- ・ 北九州銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比480億円増加して7,919億円となりました。

		(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末
3行合算	貸出金	59,992	56,380	59,068
	うち個人ローン	10,567	9,937	10,424
	うち住宅ローン	9,039	8,311	8,866
	うちその他ローン	1,528	1,625	1,558
	中小企業等貸出金 (A)	34,702	32,944	34,117
	貸出金残高(国内) (B)	59,677	56,133	58,792
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	58.15%	58.68%	58.03%
山口銀行	貸出金	32,637	31,144	32,334
	うち個人ローン	5,139	4,942	5,101
	うち住宅ローン	4,429	4,191	4,376
	うちその他ローン	710	751	724
	中小企業等貸出金 (C)	16,197	15,429	15,844
	貸出金残高(国内) (D)	32,331	30,909	32,068
	中小企業等貸出金比率 (C) / (D)	50.09%	49.91%	49.40%
もみじ銀行	貸出金	19,434	17,796	18,985
	うち個人ローン	4,132	3,854	4,051
	うち住宅ローン	3,579	3,218	3,482
	うちその他ローン	553	635	569
	中小企業等貸出金 (E)	12,438	11,792	12,317
	貸出金残高(国内) (F)	19,426	17,784	18,975
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	64.02%	66.30%	64.91%
北九州銀行	貸出金	7,919	7,439	7,748
	うち個人ローン	1,295	1,140	1,271
	うち住宅ローン	1,030	901	1,006
	うちその他ローン	264	238	264
	中小企業等貸出金 (G)	6,067	5,722	5,955
	貸出金残高(国内) (H)	7,919	7,439	7,748
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	76.61%	76.92%	76.86%

(注) 「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

## 5. 自己資本比率

平成25年12月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準(バーゼル3)、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準(バーゼル2))につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。